

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 5 - 3
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	平成 2 6 年度雁小屋団地南道路整備事業
全体事業費	2 2, 4 0 0 千円
<p>【事業概要】</p> <p>防災集団移転促進事業により整備した雁小屋団地（全85戸。復興交付金での地区名は雀塚）から南側の駒ヶ嶺地区や相馬市方面への安全かつスムーズな往来を可能とするため、接続道路を整備する。</p> <p>駒ヶ嶺地区には、福祉施設（サポートセンター「まごころ」）や災害公営住宅、総合公園も整備され、新しい生活エリアが形成されつつある。</p> <p>雁小屋団地から駒ヶ嶺地区に移動しようとする、遠回りかつ狭隘な町道小川赤柴線（車道幅員 4 m、歩道なし）を利用しなければならず、路線沿いの新地高校の学生や被災高齢者住宅の住人が交通事故に巻き込まれる可能性が高まっている。</p> <p>従って、雁小屋団地の整備に伴い、当該団地住人をはじめとする地域住民の利便性を図るため駒ヶ嶺原地区までの接続道路を整備するものである。</p> <p>大半の区間は新設となるが計画地はほぼ平坦であり、また道路線形を極力直線にして道路延長を最小限にするなど事業費削減を図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・延長約760m 幅5.5m（7.0m） <p>【事業期間】 平成 2 6 年度～平成 2 7 年度</p> <p>【事業費】 ・平成 2 6 年度 測量調査設計 2 2, 4 0 0 千円（今回提出分）</p> <p>※平成 2 7 年度に整備工事を実施するが、詳細積算中（次回提出予定）。測量調査設計を含めて、全体事業費約275, 000千円の予定。</p> <p>【基幹事業との関連性】</p> <p>事業番号と事業名 D 2 3 - 5 新地町雀塚地区防災集団移転促進事業</p> <p>基幹事業との関連性</p> <p>基幹事業により造成された雁小屋団地や災害公営住宅等において安心して生活できることが集団移転の成果であるため、当道路の整備により生活環境を向上させるとともに、周辺道路の危険性を低減し住民不安の解消を図るものである。</p>	

※ この様式は、原則として、参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 6 - 9																										
要綱上の事業名称	(25) 市街地復興関連小規模施設整備事業																										
細要素事業名	平成 26 年度大戸浜今泉線道路整備事業																										
全体事業費	40,000 千円																										
<p>【事業概要】 大戸浜防災集団移転団地の造成が平成 25 年度に完成し、被災者の住宅再建が進み生活環境の整備が必要となる。 本路線は、新しく整備される大戸浜防災集団移転団地南側から、相馬市方面に向かう主要地方道相馬亘理線へとつながる道路であり、買い物や緊急時の避難も含め被災住民の生活向上に大きく寄与するものと想定される。現道は幅 2 m 程と狭い未舗装道路であり、車のすれ違いもできない道路で、地域の住民は不便を強いられていた。新しい住宅団地を整備に伴い、更なる被災住民の利便性を図るため、今泉地区までの接続道路を整備する。</p> <p>【事業期間】 平成 25 年度～平成 27 年度</p> <p>【事業費】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">・平成 25 年度</td> <td style="width: 30%;">測量調査設計</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">6,500 千円</td> <td style="width: 40%;">「★D23-6-5」(既提出分)</td> </tr> <tr> <td>・平成 26 年度</td> <td>測量調査設計</td> <td style="text-align: right;">6,800 千円</td> <td>(今回提出分)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>用地及び補償費</td> <td style="text-align: right;">1,700 千円</td> <td>(今回提出分)</td> </tr> <tr> <td>・平成 27 年度</td> <td>用地及び補償費</td> <td style="text-align: right;">2,000 千円</td> <td>(次回以降提出分)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事費</td> <td style="text-align: right;">23,000 千円</td> <td>(次回以降提出分)</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">40,000 千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>【基幹事業との関連性】 事業番号と事業名 D 23 - 6 大戸浜地区防災集団移転促進事業 基幹事業との関連性</p> <p>基幹事業による集団移転団地造成に伴い、新たな場所での生活再建が始まることから、生活の利便性の向上を図るものである。</p>				・平成 25 年度	測量調査設計	6,500 千円	「★D23-6-5」(既提出分)	・平成 26 年度	測量調査設計	6,800 千円	(今回提出分)		用地及び補償費	1,700 千円	(今回提出分)	・平成 27 年度	用地及び補償費	2,000 千円	(次回以降提出分)		工事費	23,000 千円	(次回以降提出分)			40,000 千円	
・平成 25 年度	測量調査設計	6,500 千円	「★D23-6-5」(既提出分)																								
・平成 26 年度	測量調査設計	6,800 千円	(今回提出分)																								
	用地及び補償費	1,700 千円	(今回提出分)																								
・平成 27 年度	用地及び補償費	2,000 千円	(次回以降提出分)																								
	工事費	23,000 千円	(次回以降提出分)																								
		40,000 千円																									

※ この様式は、原則として、参考様式第 3 0 及び参考様式第 3 3 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 23 - 7 - 4																																				
要綱上の事業名称	(28) 防災拠点施設整備事業																																				
細要素事業名	平成26年度富倉地区防災拠点施設整備事業																																				
全体事業費	70,000千円(変更前 67,500千円)																																				
<p>【事業概要】</p> <p>当該地区の自主防災組織の防災拠点となる公共施設が、東日本大震災による地震及び、津波(床上50センチ程度の浸水)により大規模半壊の被害を受け、修理再利用が不可能となった。</p> <p>当該地区は、震災により107世帯のうち7世帯が津波被害を受けたが、全て現地再建をしているほか、防災集団移転で8世帯、また、被災を受けた沿岸部等から自己再建により約30世帯弱が移転する。このため、これら約140世帯に災害発生時に地域の避難所・活動拠点となる重要な施設が必要となる。このため、町復興計画に防災施設の復旧を定めていることから、地区の防災拠点施設を整備し、安全安心なまちづくり及び平常時には防災意識の向上を図るため、この施設を防災教育や訓練の場として活用したい。このため、今次津波の浸水を受けなかった場所に防災拠点施設を建設する。</p> <p>今回の提出は、切土工事を行ったところ、降雨のたびに粘土質層と砂岩層の間から水が吹き出し、法面が崩壊するため、当該部分に排水設備を設置する。また、風化砂岩部分の崩壊も懸念されることから、法面全体の保護工事を行いたい。</p> <p>【事業期間】 平成25年度～平成26年度</p> <p>【事業費】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">・平成25年度(既提出)</td> <td style="width: 10%;">★D23-7-1</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 60%;"></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>調査設計委託</td> <td>:</td> <td>11,000千円</td> </tr> <tr> <td>用地取得</td> <td>用地取得</td> <td>:</td> <td>1,500千円</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>造成・建築・駐車場工事</td> <td>:</td> <td>55,000千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="border-top: 1px solid black;">67,500千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> </td> </tr> <tr> <td>・平成26年度(今回提出) ※変更前</td> <td></td> <td></td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>工事費(法面保護工事)</td> <td>:</td> <td>2,500千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="border-top: 1px solid black;">70,000千円</td> </tr> </table> <p>【基幹事業】</p> <p>事業番号と事業名 D 23 - 7 富倉地区防災集団移転促進事業</p> <p>基幹事業との関連性</p> <p>当該地区には、基幹事業で造成する敷地があり、災害時発生時には地域の避難所・活動拠点となる重要な施設として整備する。</p>		・平成25年度(既提出)	★D23-7-1			委託料	調査設計委託	:	11,000千円	用地取得	用地取得	:	1,500千円	工事費	造成・建築・駐車場工事	:	55,000千円				67,500千円					・平成26年度(今回提出) ※変更前			0千円		工事費(法面保護工事)	:	2,500千円				70,000千円
・平成25年度(既提出)	★D23-7-1																																				
委託料	調査設計委託	:	11,000千円																																		
用地取得	用地取得	:	1,500千円																																		
工事費	造成・建築・駐車場工事	:	55,000千円																																		
			67,500千円																																		
・平成26年度(今回提出) ※変更前			0千円																																		
	工事費(法面保護工事)	:	2,500千円																																		
			70,000千円																																		

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業(当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。)について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。